

と き：令和3年4月15日(木)14:00～

ところ：市政記者室

■ プラスチックごみ削減に関する取組を紹介する動画が完成しました

＜担当：環境局環境施策部都市間協力担当 電話：06-6630-3208＞【フリップあり】

- ◆ 大阪市は、大阪府とともに大阪発「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を推進するため、経済、社会、環境それぞれの視点での取組を内閣府に提案し、昨年7月に「自治体 SDGs モデル事業」に選定された。
- ◆ その中で、モデル事業を始めとする SDGs の取組に関する情報発信と国際協力の推進を事業の柱のひとつとしている。
- ◆ 取組の一環として、令和3年3月24日（水曜日）に、在サンクト・ペテルブルク日本国総領事館とサンクト・ペテルブルク市が主催する海洋プラスチックごみ問題をテーマとした日露地域交流環境会議「きれいな海」に参加した。
- ◆ その会議で、「国際的に重要なテーマとなっているプラスチックごみの問題に焦点を当て、地域の交流ができることは大変すばらしいことである」との市長メッセージを届けるとともに、「2050年（令和32年）までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロ」の実現に寄与する取組として、地域・事業者の連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステム等のプラスチックごみ削減に関する事業を紹介し国際社会に大阪市の先進的な取組を紹介した。

- ◆ さらに今回、「自治体 SDGs モデル事業」の取組のひとつとして、プラスチックごみ削減に関する好事例を効果的に海外に情報発信するための動画を作成した。
- ◆ この動画は全編英語で作成し、国連環境計画のインガー・アンダーセン事務局長を始めとする、海洋プラスチックごみをめぐる世界の現状を危惧する人々のメッセージや、日本の企業のプラスチック代替製品やリサイクルといった技術の紹介のほか、大阪府知事とともに大阪市長として、世界中の方に対して、プラスチックごみ削減に向けて取組んでもらうためのメッセージを盛り込み、様々な機会に活用いただけるように10分、3分バージョンと30秒のダイジェストの3つを用意した。
- ◆ 動画については本日から環境局 YouTube チャンネルでも視聴可能となっている、ぜひご覧ください。
- ◆ 今後も、サンクト・ペテルブルク市との会議のような国際会議の場を活用し、大阪・関西企業等のもつ先進的な環境技術を発信することで、「G20大阪サミット」の象徴的のレガシーである「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を先導していく。